

指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成23年4月1日～24年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	身体障害者通所授産施設「川西作業指導所」
	所在地	兵庫県川西市小戸3丁目12-10
	設置目的	18歳以上の身体障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うことを業務とする。
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1-7
指定管理業務の内容		<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)18歳以上の身体障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うこと。</p> <p>(2)施設の利用の承諾、その取消し、その他福祉センターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び免除に関すること。</p> <p>(4)施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。</p> <p>(6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>
指定期間		平成21年4月1日～24年3月31日

2 評価結果

川西作業指導所

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	B		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	B	授産種目の多様化や作業の分業化は利用者にとって利便性を高める。	利用者支援のため、授産種目の多様化、作業の分担化等努力している。
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B		
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	B		
[改善項目]		施設の順次的な改修。	施設の老朽化に対する改修が必要。
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	定員35人に対し、契約者数は39人であり、サービス利用者の増が図られた。	定員35名より多い契約者数の確保が実施されている。
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	A		
[改善項目]		工賃向上による一層の利用者の出席率の向上。	利用者の出席率を高めるため、作業工賃の増を図っていくべきである。

(3) 利用者の満足度		B		
	利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	B	利用者からすれば「少しでも多くの工賃を」を望まれるのは致し方ないが、施設の目的は「社会参加の一環」「生活リズムの維持」である。	本作業所は、作業指導、生活指導等を行うことを目的としているが、利用者の「工賃の増」希望は否めない要望である。
	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B		
	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B		
	その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B		
	[改善項目]		利用者の満足度が少しでも高まる環境づくり。	作業指導、生活指導等あるが、利用者の要望が少しでも可能となる工賃増の取組みが望まれる。
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】		B		
(1) 経費の節減		B		
	施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	経費の削減に努めている。	正職員、準職員の臨時職員化等への軽減が図られている。
	指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	B		
	[改善項目]		利用者の重度化、高齢化に対応した適正な人的配置。	経費節減に伴い、利用者の重度化、高齢化に対応した職員配置が困難となっており、検討を要する事項である。
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価		A		
	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	収入の安定化は図られている。	収入の安定化は図られている。
	[改善項目]		出席率向上による新しいサービス収入の増。	利用者の出席率向上を図っていくべきである。
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価		A		
	収支のバランスが適切であったか。	B	利用者負担は、ほとんどない。	利用者の自己負担が、ほとんど免除対象者であり、支出については適正である。
	経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	B		
	収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		
	[改善項目]		新しいサービスによる加算の増を見込む。	H24年度新体系移行に伴う、加算増を見込む。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	B		
(1) 管理運営の実施状況	C		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	C	施設の適正な運営管理に人員不足は否めない。	公の施設運営に当たり、適正な職員配置であるとは言えない。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	C		
施設の維持管理が適切に行われたか。	B		
指定管理者の提案による新たな取組みは実施されたか。	C		
[改善項目]		適正な人的配置と施設の順次的な改修。	利用者の重度化、高齢化に対応し、適正な人員配置が望まれる。

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		B	
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B	日常の事故防止対策安全対策を考慮する必要がある。	年次的な避難訓練は実施されているが、施設の老朽化に対する安全の確保が必要である。
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	B		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	C		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	B		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	B		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。			
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		
[改善項目]		施設の順次的な改修。	施設の改修が必要である。
総合評価			
評価ランク	B	<p>[所見] 人員不足による安全な施設運営が困難。</p> <p>[改善項目] 適正な人的配置。</p>	<p>[所見] 利用者の重度化、高齢化、施設の老朽化、職員体制のリスク管理が必要である。</p> <p>[改善項目] 安全管理者は、組織全体のリスクを把握し、改善策を検討してすべきである。</p>